

## 編 集 後 記

本支部第五回、第六回研究発表会で発表された成果を支部の紀要第四、五合併号で刊行することになった。

### 第 五 回 発 表 会

(昭和36年11月26日、岡山大学にて)

1. Manifeste du surréalisme と Paul Eluard の詩について  
岡山大学 佐藤 巖
2. Sainte-Beuve と Idéologues …………… 岡山大学 岡部 喬
3. Rimbaud の “Les Illuminations” について …… 広島大学 三木 英夫
4. Antoine de La Salle: “Le Petit Jehan  
de Saintré” の所謂強変化動詞について …… 岡山大学 大高 順雄
5. L’Esprit français et l’humour …………… 松山商大 広田 喜作
6. Malraux の友愛について (その二) …………… 広島大学 林 道恵
7. Mistral の叙事詩 “Mirèio” の創作過程 …………… 岡山大学 杉 富士雄

#### 特 別 発 表

“Chanson de Roland” の成立について …………… 早稲田大学 佐藤輝夫先生

### 第 六 回 発 表 会

(昭和37年11月25日、松山商科大学にて)

1. 月刊誌 “Le Rire” と “Réalité” における  
文学的表現と俗語的表現—仏作文におけ  
る若干の資料として …………… 松山商大 広田 喜作
2. Malraux の小説における “Temps” について … 広島大学 林 道恵
3. ”Chanson de Roland” の異教徒について … 鈴峯女子短大 信 森 広 光
4. フランス詩における allongement  
の技法について …………… 広島大学 中 村 義 男

以上のうち第五回の三木氏の研究は広島大学教養部紀要 (VIII—37年3月発行) に、第六回の林氏のは同紀要 (IX—38年2月発行) に発表済みとなったので本号には載せられなかった。また当時岡山大学に御来講中の佐藤先生が特別御講演下されたことは支部として誠に光栄であり深甚の謝意を表する次第である。

口頭発表だけでは業績と認められないので活字として論文集を出すようになり、小人数の当支部が会員各自の相互扶助によりとにかく3回の刊行をなし得たことは御同慶の至り

であるが、当支部発表会で公表された業績が他の機関誌に掲載されることに対しては一応反省せねばならぬと思う。それには毎回速やかに会誌の刊行を実現する方途を考えるべきである。

支部長が変わったので、支部全員の名において長崎前支部長の労苦を厚く御礼申しあげ、広告主の御協力と、とくに創刊以来多大の犠牲を払って出版を引受けて下された大学印刷に心から御礼を申し述べる。